

ゲムシタピン療法

【レジメン】

day 1,8
day 9~21②ゲムシタピン 1000mg/m²

休薬

上記を3週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① デカドロン8mg+ 生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② ゲムシタピン () mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。	30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day8 (/)	<input type="checkbox"/> ① デカドロン8mg+ 生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② ゲムシタピン () mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。	30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day15	休薬			

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：グラニセトロンバッグ1mg/50mL 15分 (day1~5,8~12のみ使用可能)メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
上記効果が不十分な場合オランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可吃逆時：メトクロプラミド1A静注コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。

国立病院機構函館病院 呼吸器科

令和元年5月1日